

多くの賛同者・賛同団体を得て

「原発は入らない」

「東海第二原発を廃炉に」 新聞意見広告を掲載

12月8日（土）茨城新聞に、
全一ページ全面で！！

「原発はいらない」の声が日本列島を揺るがしています。毎週金曜日、首相官邸を取り巻く「日本列島から原発をなくそう」の叫びは、今や全国各地に広がり、茨城でも水戸の原電事務所前や東海駅等で毎週開催されています。

また茨城では、関東唯一の原発である「東海第二原発」の「再稼働反対・廃炉に！！」の声が日増しに高まっています。平和委員会では、これら多くの人たちの声を県民にアピールしようと意見広告に取り組みましたが、幸いにも多くの皆さんの賛同を得て掲載することができました。

今回は総選挙まっただ中でのとりくみでしたが、各地の平和の会・平和委員会が草の根の取り組みが進みました。また事務局でも全県下に4万枚余の要請チラシを配布しましたが、それを見た賛同の手紙や電話連絡、なかには直接に送金してくれた人たちが多かったのも大きな特徴でした。

今回の総選挙では、自民、維新、民主、未来、公明、みんな、日本新党の各党は「改憲」を公約しています。また大手新聞や、テレビ週刊誌の多くは、「政権の枠組み」の報道や「勝ち馬」意識を煽（あお）る世論調査の報道ばかりで、憲法改悪の問題についてはほとんど触れていません。今回の意見広告で、「今回の総選挙が、平和を支える『憲法の改悪』の許さないこと」も大きな争点であることをアピールすることができました。



東海原発との同居はもうごめんです！
12月16日は衆議院議員総選挙の投票日です。「脱原発」・憲法9条を守ることを約束する国会議員を多数当選させましょう。

意見広告

事故で
県民は故郷をうばわれます
トランプも続きの原発
100万人の避難は不可能
放射能汚染は西都府に広がる

廃炉は
県民のねがいです
27万人の署名が前知事に
25の議会が再稼働反対・廃炉の議決を請願
再稼働再開すべきでない（87）

原発ゼロに
脱原発は全国のながれです
稼働すれば使用済み燃料がたまるばかり
廃炉がなくても電力はまがなえます

日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0912 水戸市見川5-127-281 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp Tel&Fax.029-251-2806 Http://ibaheima.web.fc2.com/

戦争をしない国であり続けるか否か
衆院選挙はその進路に関わる選択だ
憲法を守り活かす勢力の前進を！

長野県の憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会は、アジア・太平洋戦争開戦の日である12月8日、「信濃毎日」朝刊に「世界に誇る平和憲法 いまこそ正念場。私たちは憲法改悪に反対です」とする、全面意見広告を掲載しました。個人1682人、243団体、88地域九条の会が賛同しています。意見広告は、集団的自衛権行使や国防軍設置、オスプレイ沖縄配備について「戦争をする国づくりを目指すものだ」と指摘、「憲法」の精神は、いま世界の流れとなっています」とのべています。



【8日付の「信濃毎日」朝刊に掲載された意見広告】



歓迎！新入会員のみなさんです。
宜しくお願いします。

-
- 布施 治代 さん（鹿嶋市）
- 田村 武夫 さん（水戸市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞 2012年12月15日（土曜日）
2004号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 642
2012.12/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

2012

土浦平和の会ニュース

平和の旅 18名参加で

神奈川の戦争遺跡と米軍の基地

11月18日（日）～19（月）（1泊）で行いました。貸し切りバス（25人乗り。運転手付き）で、楽々ツアーでした。

第二の基地県である神奈川の旅でした。神奈川の米軍基地の面積は20.8km²だが、基地数は14で、沖縄の34に次ぐ。横須賀海軍施設に海軍司令部、キャンブ座間に陸軍司令部があり、有事の際には海軍・陸軍の司令基地になる。



【「平和の母子像」前】

この像は米軍機に焼かれて亡くなった林和江さんと2人の坊やの慰霊のために横須賀港を望む丘の上に建立されました。

映画会

おおみや平和の会ニュース



忘年会

映画「一枚のハガキ」に409人

おおみや平和の会は、美和館川平和の会と協力して201枚の入場券を普及し、「よい映画をひろめる会」「新日本婦人の会」と一緒に上映を成功させました。「始めは暗かったけど、最後は明るい舞台でよい映画だった。」「よい映画をありがたそう。これからもよい映画を見せて下さい。」等の感想が寄せられました。

27人で忘年会

11月24日、27人が集い楽しい忘年会となりました。初参加、あるいは初顔合わせの人と、全員自己紹介し合い、話しもはずみ和やかな忘年会でした。

オーストラリア沖縄から初の国外訓練

米領グアムなど

【グアム共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に配備された新型輸送機MV22オーストラリア3機が10日、米領グアムなどで11月末から実施中の米軍事演習に本格的に参加した。10月の普天間配備後、オーストラリアが日本国外で訓練に参加したのは初めて。

アジア太平洋地域重視を掲げる米軍にとり、グアムは軍事戦略上の要衝。米軍は、日本本土での低空飛行訓練に先立つ今回の演習を通じて「海兵隊の高い機動力と戦闘力を示す」としており、中国軍が存在感を増す同地域での前方展開能力の強化を日指す。約800人が参加する演習はグアム島北部のアンダーセン空軍基地を中心に行われている。

（共同通信）

「平和ワイン」の配達始まる

「クリスマスには、みんなで平和ワインを飲んで静かに語ろう」

毎年取り組んでいる勝沼ワインの普及活動は20年余になります。ワインは山梨県勝沼のワイナリーで醸造された純国産「ヌーボー（本年産）」です。毎年同じワイナリーから取り寄せています。

このワイナリーでは、今年度は赤が13,000本、白が14,000本の限定製造でした。瓶のラベルに書いてありますので手に入れた方はぜひ確認して下さい。

今年の夏が非常に暑かったのは記憶に新しいところですが、実はこの暑い夏こそがワイン用ブドウには幸いしたと言えます。ワイナリーの担当者は「味は近來では最高のできになった」と、折り紙を付けています。しかし値上げの問題もあり、事務局では同じ山梨県の別のワイナリーからも見本を取り寄せ試飲しましたが、味から今までのワイナリー醸造のワインに落ちつきました。

事務局では昨年と同様、ラベルを作成し、配布の時に貼付することができるよう準備しました。普及本数は、赤386本、白298本、全体で684本（57ケース）となりました。

【今年も「平和ワインシール」を貼りましょう。】



東海第二原発の再稼働を許さず、廃炉に！

茨城県平和委員会-2012年

「シリーズ」功徳功会員

常総市／岡野 一男さん（取手平和委員会）

国民の権利を奪ひ生活を豊にする本来の学問の基本は、憲法の日本国憲法



今年3年生の担任をしています。秋以降は大学のAO入試や推薦入試を受験する生徒の小論文や面接の指導をしています。法学部を受験し、将来は公務員になりたいという生徒には「法律の本来の目的ってわかる？」「法律の基本には日本国憲法があるんだけど、日本国憲法の理念って何だったかな？」そんな質問をしながら、日本国憲法が約100条からできているその条文の3分の1は国民の権利について規定されている等の話をしました。

本来の法学、経済学は国民の権利を守り、国民の生活をより豊かにするための学問だった。しかし、現実には若者の派遣やパートなどの不安定雇用が蔓延し、税金が払えない国民が急増し、消費の底冷えが長期間続きでデフレ不況から抜け出せない。自分の身のまわりで起こっている若者の労働の問題や社会的な問題点に触れながら、日本国憲法が何を目標しているのか、自分は公務員になって何をしたいのかを文章にしてみよう、自分の言葉にしてみよう。

そんな指示を出しながら、結果的には議論を継続する。教えるというよりも一緒に作っていく。そんなやりとりです。そして、基本にあるのは日本国憲法です。やればやるほど日本国憲法が使えることを実感しました。来年度は勤通大の憲法コースを受講しようと思っています。

編集後記

平和かわら版の今年発行分は、年末・年始の合併号を残すだけとなりました。月3回の発行ということで粗雑になったものもありましたが、各地域の平和の会の活動に励まされたので一年間でした。会員のみなさんの声が届くと嬉しいとホッとします。来年もぜひどんどん書いて送って下さい。（小林・記）